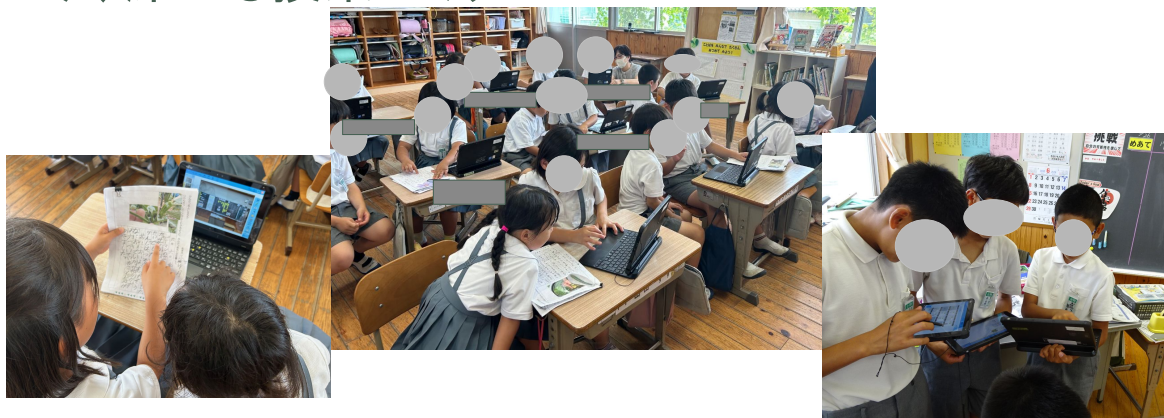


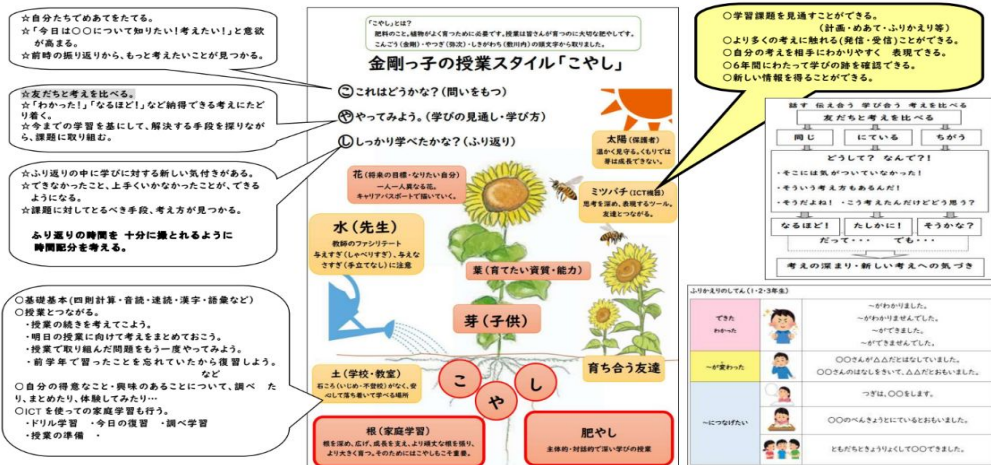
授業づくり部会

実践1

ICTを効果的に使い、協働的な学びの中で考えを広げ、深める授業づくり

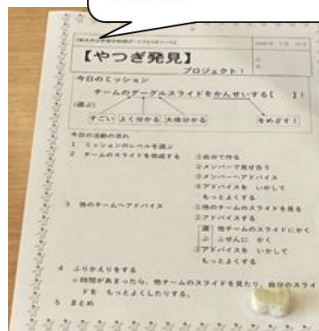


学校全体で共通理解をし、授業づくりを進めた。

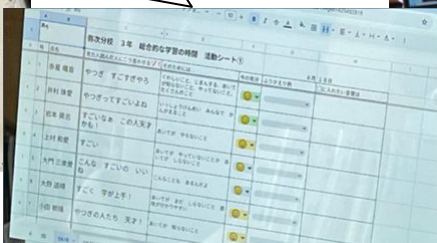
[illegible]

☆自分たちでめあてをたてる。
☆「今日は〇〇について知りたい！考えたい！」と意欲が高まる。
☆前時の振り返りから、もっと考えたいことが見つかる。

1時間の流れが分かり、
見通しをもって進めること
ができる。



めあてを立て、意欲をもって取り組むために、自分の気持ちを言語化する。



2年 国語科「かんさつ名人になろう」
スカイメニュー 発表ノート

疑問に思うこと、もっと調べてみたいこと、予想などを付箋を使って出し合い、学習課題を決めていく。



一つの画面で全員が共同作業をすることができる。

一つの画面で見ることができるため、課題の集約もしやすくなる。



6年社会科「全国統一への動き」課題づくり canva(ホワイトボード)クラスルーム

やってみよう

☆友達と考えを比べる。

☆「わかった!」「なるほど!」など納得できる考えにたどり着く。

☆今までの学習を基にして、解決する手段を探りながら、課題に取り組む。

児童同士のつながりや深まりのある対話や協働的な学び



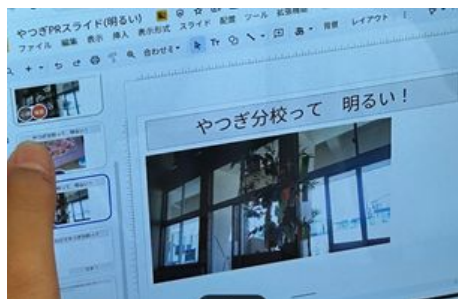
友達と交流しながら写真に気付きを書き込んだり加筆したりすることができる。「目がまるくてすごい。」という表現が「目がまるくて大きい。」という表現に変わった。

1年 国語科「しらせたいな、見せたいな」スカイメニュー 発表ノート



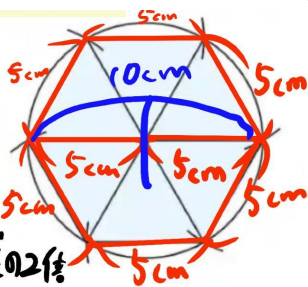
グループの友達のスライドも編集することができるので、互いに作品を見合って加筆、修正ができる。

3年 総合的な学習
「やつき発見プロジェクト」グループスライド



3倍

① 5cmで6倍をい
② 10cmをい、半径の2倍
で、 半径 直径
5×2=10 6÷2=3倍

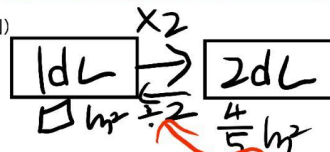


タブレットを使うことで図形を描いたり書き込みをしたりすることが簡単に分かりやすくなる。

5年 算数科 スカイメニュー 発表ノート

2dLで $\frac{4}{5}$ m²ぬれるペンキがあります。
このペンキ1dLでは何m²ぬれますか。

(関係図)



$$(式) \frac{4}{5} \div 2 = \frac{4 \div 2}{5} = \frac{2}{5}$$



共有する



他の児童の考えを見ることで交流してみたい人のところに行って話をすることができる。

6年 算数科「場合を順序よく整理して」
スカイメニュー みんなの作品

みんなは、どんな
かんさつのポイントに
ついて書いたのかな。

タブレットをこうやって
回して、みんなの考えを
見てみよう！



2年 国語科「かんさつ名人になろう」
スカイメニュー 発表ノート

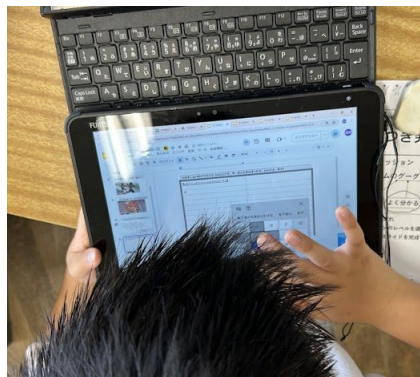
深める



友達が作成したスライドに対するアドバイスを
を行う。ICTを使うか付箋(紙)を使うかは児
童が自分で選択する。



3年 総合的な学習
「やっぎ発見プロジェクト」
クラスルーム ゲーグルスライド
スカイメニュー 発表ノート



6年 国語科『『考える』とは』
canva(ワークシート) クラスルーム



Canvaアプリを使ったワークシートを
児童に配付することで、それぞれの児童が
自分のシートに書き込みをしたり、同時編
集をしたりすることができる。困ったとき
には友達ワークシートを参照することが
でき、自分の考えを書き込むことが難しい
児童も書き込みができるようになった。家
庭学習で書き込みができるのも利点であ
る。教師は児童の様子や気になる児童を同
時に見取ることができ、修正、加筆する
こともできる。

つながる発信する

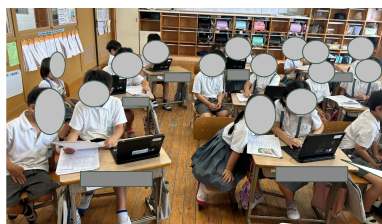


通学路で見つけたものを写真に撮り、友達に紹介する。

1年 生活「学校にくるみち、かえるみち」
スカイメニュー 発表ノート

相手意識(友達・家族)をはっきりともち、自分の考え・気づきをまとめて発表する。

クラスや異学年の友達に



2年 国語「かんざつ名人になろう」
スカイメニュー 発表ノート

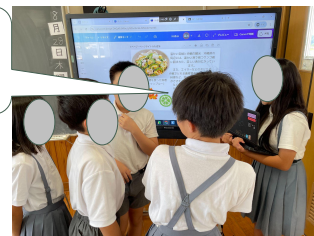
自分たちが育てた野菜を丁寧に観察し、撮りためていた写真をもとに、成長の様子を1年生に伝えることができた。



自分のことを友達に知ってもらうためのプレゼンテーション。写真があることで、より詳しく聞き手に伝わる。それを受けて、聞き手が発表者にもっと知りたいことを質問をする。

3年 国語「もっと知りたい、ともだちのこと」
スカイメニュー 発表ノート

沖縄について学んだことを共同編集し、別のグループにまとめたことを発表する。



5年 社会「自然条件と人々のくらし」
Canva ワークシート

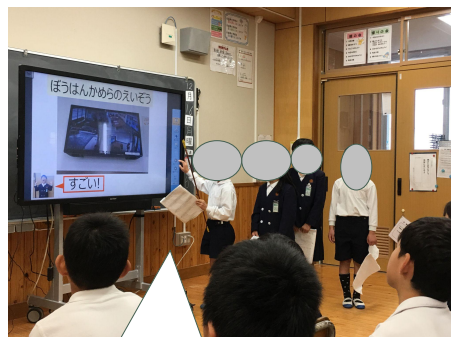


相手意識(友達・家族)をはっきりともち、自分の考え・気づきをまとめて発表する。

家族に

修学旅行で学んできたことをもとに、平和について考えたり調べたりしたこと家族に向けて発表した。

6年 総合的な学習 平和学習
スカイメニュー 発表ノート



校区探検の様子をタブレットでグループ共有し、まとめて発表した。

2年 生活 金剛のすてき見つけた(町探検)
スカイメニュー 発表ノート

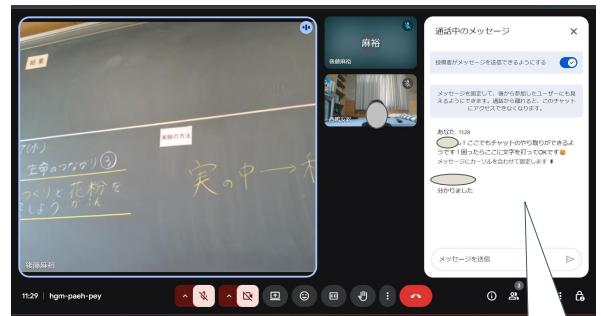
山江村の小学生との交流



山江村の子供たちと交流前の学校紹介をオンラインで行う。



欠席の児童へのオンライン授業



欠席した児童も一緒に授業の様子を見ることができるオンライン授業を行う。

授業中に分からないことがあると、メッセージで質問を送ってくる。

しっかり学べたかな？

- ☆振り返りの中に学びに対する新しい気付きがある。
- ☆できなかったこと、上手いかなかったことが、できるようになる。
- ☆課題に対してとるべき手段、考え方が見つかる。

児童が達成感や更なる意欲をもつことのできる振り返りの充実

第2時振り返り	第3時振り返り	
三人の考えは全然違ったけど書き方は同じということが分かりました。筆者が伝えたいことは「へた」と書いてあって分かりやすかったです。	筆者の考えは自分が思っていた所と違った物があったので次はもっと文を詳しく読んで読み取ろうと思いました。	両上さんの表現の工夫しました。
三人ともちがう考えをしているけど三人とも最後は同じ考えをしている	三人の筆者の主張はいっしょの考えをしているけど世界をどう考えるかはちがう考えをしている。	私は、石黒さん、生がして書いていた
両上さんと石黒さんと中瀬さんの主張を読み取って考えることはひとによってちがうという事が分かった	両上さんや石黒さんと中瀬さんも違っています	
3人もちっ筆者がいるのに全員がきたがいっしょでビックリしました。		
主張は最初にあるイメージだったけど3人にも最後まで書いていて、最後にかいてある文もあると分かりました。構成がにいて	3人にも考えるとはなはちが色々な考えがあるんだなと	
	三人の筆者は、皆違うことを考え、書いていたけれど構成は似ていた。主張の内容は、考えることで〇〇が変わる 〇〇になる。というものが多い	振り回りをスプレッドシートに毎時間書き込むことによって、学びの足跡を残すことができた。また、友達の振り返りも見ることができるので、学びのニュアンスの違いに気付いたり、書き方を参考にしたりすることができた。
	3人の人たちは(考えること)は同じだけど、それぞれの3人の書いて文が似ていた。それぞれのががえを書いてる。『〇〇のようにすれば』というように書いてあったのが少し多かった。	作者が伝えたいこと、な書くことが少しづつはちがった。
	文の構成がほとんど同じだったが伝えたいことはちがった。次回も引き続き文章を読み取っていく。で	それぞれ3人が伝えたいの文の中で、構成がかった。3人の伝えたい
		案外伝えたいことの近ではなく、別の段落に

6年国語科『『考える』とは』スプレッドシート

弥次分校 3年総合的な学習の時間活動シート⑧

7月 15日

2週間で集めたデータは？	スライドのある場所	今の気分	ふりがえり例	□に入れた言葉は
データが たりない、ない	https://docs.google.com/presentation/d/10eYxne	次は□□をします		
あまり わからない		□□ができなかった		
あまり わからない		□□ができなかった	データを作るの	

その時間に作成したスライドのある場所をリンクで貼っておくことで学習の足跡を残し、いつでも見ることができる。

振り返り例をプルダウンにして振り返りシートに入れておくことで低学年でも振り返りが書きやすくなる。

とてもよくできた	聖徳太子は政治のためにいろいろなことをしました。次は、その政治が変わるのかについてしらべたいです。
とてもよくできた	もしも、聖徳太子が亡くなったら政治はどうなるだろうか
とてもよくできた	聖徳太子は、政治では法隆寺を中国の文化を広めるために作ったのが分かったので、次の時間に今の政治までどのように進んでいったのを知りたいです。
とてもよくできた	今日の社会で、聖徳太子のことや小野妹子さんで、中国に使われた言葉が大変なことになったという事が分かったから、小野妹子が来ると政治が発達してどのような問題ができたのかを次の時間に調べてみたい。
できた	なんとなく聖徳太子が行ったことは、知ってたけど、聖徳太子が大陸の文化を政治に生かしたのを初めて知りました。
できた	政治でこの時代にも憲法があることを知りました
とてもよくできた	聖徳太子がどのようなことを行ったのか分かった。次はその政治がずっと続いていくのかを調べたい

3年総合的な学習「弥次プロジェクト」スプレッドシート

振り返りの中に「次の時間に勉強したいこと」「疑問に思ったこと」などを書くことで次の時間につなげる。

6年社会科「大陸に学んだ国づくり」スプレッドシート

めあて

まとめ

振り返り

農業機械の広がりには米づくりにどのような影響をあたえたのか学習しよう。	農業機械の広がりには米づくりにどのような影響をあたえたのか学習しよう。	農業機械の広がりには、米づくりにどのような影響をあたえたのか学習しよう。	農業機械の広がりには、米づくりにどのような影響をあたえたのか学習しよう。
米づくりが変わってきたことで、昔と比べて新しい品種が増えてきている。研究所の人が品種改良に取り組んでいることが分かった。	昔の米作りには、田植えやいねかりもすべて手作業でしていた。そのため作業が楽になり作業時間が短くなった。	今日は、新しい言葉が出てきて「品種改良」という言葉が出てきました。	農業機械は、作業の時間を短くしたり、作業を楽にするなど機械があることで農家さんちも助かっている！
〜につなげたい	わかった・できた	わかった・できた	わかった・できた
機械が、どんなときでも役に立つと分かりました。	農業機械がなんはすべての機会を合わせると1000万以上の金額だということが分かりました。	農業機械の広がりを知りたい。農家のことを知ろうと思いたい。	機械があることによって助かっていることがたくさんあることが分かりました！昔の人は、手作業と知ってびっくりしました！

振り返り

評価

教師側からの評価もプルダウン形式で振り返りシートに入れておくことで簡単に評価を返すことができる。また、よいまとめや振り返りに色を付けることで、児童もどのような書き方がよいのかを考えたり、参考にしたりすることができる。

5年 社会科「未来を支える食料生産『米づくりのさかんな地域』」スプレッドシート

ツール 拡張機能 ヘルプ					
123	Arial	- 10 +	B I U	田	≡
AA	AB	AD	AE		
変わった	へにつなげたい	わかった・できた	わかった・できた	わ	
農家がいるからずっと れると思っているだけ っていることをしつ のこさずたっぷり賣 ていこうにしようと思	わたしは、農家の働きがたい ないは、ニュースなどで見て いたけど、この字義をて、農 家の人が大変なことを知 ていたことは知りませんでし う。でも、いままでと聞い た、知っているの農家さん が変だ、とても農家さんの 生活になりました。学校で お米をつづけているの、愛 をそいで育てたいと思いま した。	お米農家の後継ぎがなくて、 とてもお米農家さんが苦 しいことを知りました。も っとお米に感謝して食 うようにしたい。	米農家の後継ぎが少なくな て、米農家は、日々日々 苦しいことを知りました。 いることがわかりまし	農家 のお 米を 買 い ま す。 次	
ます！	すばらしい！	学んだことが分る	もっとくわしく書	次	

振り返りの視点

ふりかえりのしてん(1・2・3年生)

きたこと (先生や友達のこと)		○○さんが△△だとはなしてました
わかったこと わずかしかったこと		～がわかりました。 ～がわかりませんでした。 ～ができました。 ～ができませんでした。
見通し		つぎは、○○をします。
学びのつながり (授業・体験科・日常とのつながり)		○○のペンきょうとにいてるとおもいました。
人とのつながり		ともだちときょうりょくして○○できました。

発表の話形

話し方・聞き方 名人になろう



話し方・聞き方 名人になろう ↑



まとめ

○「児童が主体的に学ぶICTを活用した授業づくり」という視点において、「単元全体を見通して、本単元及び本時で身に付ける資質・能力を明確にした授業づくり」については、研究授業を中心に研究を進める中で、児童の実態や課題を的確に捉え、その課題克服に向けた単元構想を作成し、構想案の工夫を行うことで、教師が児童に「こういう力を身に付けさせた」という思いをしっかりとって授業に臨むようにしてきた。

○「教材を介して教師と児童、児童同士が向かい合い、共に教材に挑み学び合う授業づくり」に関しては、“こやし”の授業スタイルの中でICTの効果的な活用をそれぞれの場面で模索しながら教師が互いに学び合い、学んだツールを使って有効な活用法を検証してきた。今後、さらに工夫を重ね、児童が主体的に課題に向き合っているような授業づくりができるようにしていきたい。

成果と課題

児童が主体的に学ぶICTを活用した授業づくり

- ICTを活用し、みんなの考えを共有できることで、自分とは違う考え方を得ることができたり、新しい考え方から自分の考えを広げたりすることができた。
- 授業中だけでなく家庭に帰ってからも、その日の学習内容を振り返ることができた。家庭学習の中で、自分の考えを再考し、深めることができた。
- 指導者が、児童に考えてほしい内容を事前に提示することで、児童は、授業に必要な資料を調べ、情報を集めるなど準備し、のぞむことができた。
- ICTを指導者が使いこなせるようになるまでに、時間がかかった。教職員のICTスキルの個人差は大きいですが、だからこそ、共通実践の意味がある。それぞれがICTスキルを高めるための研修を積んだり、共通実践を行ったりしていくことで活用の幅を広げていくことができた。また、ICT授業サポーターにも大きく助けられている。
- 児童のICTスキルに差がある。児童が主体的に学ぶためには、各学年での系統的な計画を立て、スキルアップを積み上げていく時間の確保が必要であった。共有、まとめ方、振り返りの場面などで、児童のスキルに合わせた学び方の選択の幅を持たせることも必要である。